

“教育のゲーミフィケーション”を具現化!クラウド型学習システム「すらすら」  
スリランカの低所得層対象の学習塾に定員の1.5倍が入塾希望  
JICA 民間連携事業採択の教育格差是正プロジェクト

株式会社すらすらネット(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯野川孝彦)は、スリランカのBOP層(※1)の子どもたちを対象とした教育格差是正プロジェクトを2014年9月より実施しています。パイロット塾の開校に先駆け、2015年5月16日、17日にGrade1からGrade4(年長から小学3年生相当)の親を対象とした説明会を開催したところ、募集定員100名(1校あたり50名の学習塾2校)に対し、約1.5倍となる156名の入塾申込みがありました。

(※1)「Base of the Pyramid」の略。世界の所得ピラミッドの中で最も収入が低い所得層を指す言葉。約40億人とされている。

今回のプロジェクトは、独立行政法人国際協力機構(JICA)による民間連携事業協力準備調査 BOP ビジネス連携促進の採択を受け、スリランカのBOP層の子どもたちに、教師のレベルに左右されずに効果性の高い算数教育を低価格で提供するeラーニング塾のビジネスモデルの構築を目指し、2014年9月に開始しました。

この度、女性銀行(※2)とFoundation for Health Promotion(FHP)(※3)を運営パートナーとしたパイロット塾の開校を控え、保護者を対象とした説明会を開催したところ、5月16日のFHP主催の説明会では73名が出席し65名の申込みが、5月17日の女性銀行の説明会では91名が出席し全員に申込みいただきました。各校とも募集定員は50名だったため、5月18日の開校日には、女性銀行が53名、FHPが54名の入塾を受け入れ授業がスタートしました。残りの応募者は空席待ちの状況で、両運営パートナーは、各教室の生徒受け入れキャパシティを増加する検討を始めるとともに、秋には女性銀行にて2校の別校舎の開設が予定されています。

また開校約1ヶ月にして、女性銀行の塾では、Grade2の女子生徒が学校の算数の2回のテストでそれぞれ1位と2位を取るといった成果も現れ始めています。

(※2)女性銀行:BOP層の女性を対象としたマイクロファイナンス組織。個人塾の独立開業希望者に低利ローンを貸し出すことでBOP層からの脱却をサポートする役割の担い手として期待される。

(※3)Foundation for Health Promotion(FHP):BOP層を対象に親の健全な生活習慣を根付かせることにより子どもの教育レベルを引き上げるなどの活動を行う組織。

スリランカにおいてパイロット塾を開校する2エリアにおいてBOP層の親を対象に聞き取り調査を実施したところ、90%の世帯月収が4万ルピー(約3万6,800円)以下、30%が低所得世帯となる2万ルピー(約1万8,400円)以下でしたが、約85%の親は自身の子どもを塾に通わせる必要があると感じていることが分かりました。(1ルピー=0.92円で算出)

スリランカを始めとする途上国の発展にとって、教育は最も重要な課題の1つです。特に、基礎数学力は現代社会において必要な生きる力であるにもかかわらず、多くの子どもたちは十分な基礎計算能力を身に付けていないのが現状です。

今後、本プロジェクトにおけるパイロット塾の運営を通じて、実施可能なビジネスモデルを構築していく予定です。

すらすらネットでは、「世界中の教育格差の根絶」を理念としており、今後も品質の良い教育を低価格で提供することで、教育格差を解決していきたいと考えています。



▲女性銀行が運営するパイロット塾の様子

## ■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【利用者数】 約30,000名（2015年4月末現在）

【特徴】

### ○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

### ○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

### ○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ  
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ  
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ  
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

## ■すららの「ゲーミフィケーションの要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

## ■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：13,795万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>